

○ 観察記録表 図-2

植物名	特徴	花	葉	茎	生活型
(例) メヒシバ		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 緑色している</li> <li>○ 小穂分かれる (4~5)</li> <li>○ 放射状に出て10cmくらい</li> <li>○ .....</li> <li>○ .....</li> <li>○ .....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互生</li> <li>○ 平行脈</li> <li>○ 葉鞘に毛あり</li> <li>○ .....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 丸と三角の間</li> <li>○ 束になってでている</li> <li>○ .....</li> <li>○ .....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分枝型</li> </ul>

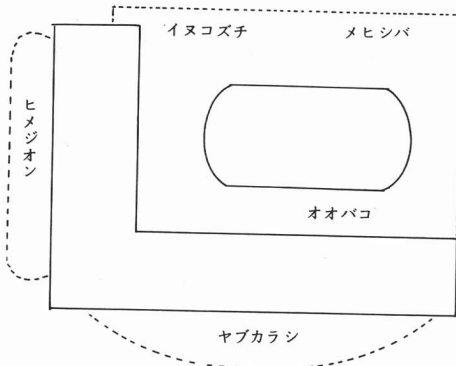
② 図鑑を配布しておき、自分の採集してきた植物名を調べさせる。その後、班で確認させる。

③ 各自調べた植物について、分類カードをもとに紹介させる。

(2) 校底の植物の観察

① 植物の生育場所と環境について観察させる。

代表的な植物 (オオバコ、メヒシバ、ヒメジオン、ヤブガラシ、イヌコズチ) など5~6種類選び、それらの植物は、校庭のどこに多いか実際に、校庭や校舎のまわりで、調べさせ、下図のような、各学校の平面図に色分けして記入させる。結果から生育場所と環境について考察させる。



ア これらの植物は、どんな環境に多かったか

- オオバコ
- メヒシバ
- ヒメジオン
- ヤブガラシ
- イヌコズチ

イ 植物と日光の関係はどうであったか。

② 植物の群落のようすについて観察させる。

「日光の当たる所と当たらない所」「踏まれる所と踏まれない所」等などについて、植生のようすを色分けして図に記録させる。これらについて、春、夏、秋、冬について観察し、変化を見る。

